

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クイック

コード番号 4318 URL <http://919.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和納 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経営戦略室長 (氏名) 平田 安彦

TEL 06-6366-0919

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,690	16.5	540	144.7	560	129.5	342	42.1
23年3月期第3四半期	4,885	2.6	220	—	244	—	240	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 339百万円 (43.5%) 23年3月期第3四半期 236百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	18.45	—
23年3月期第3四半期	12.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,010	2,193	54.5
23年3月期	3,544	1,946	54.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,185百万円 23年3月期 1,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1.50	—	3.00	4.50
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
平成23年3月期の1株当たり配当額には、創業30周年記念配当1円を含んでおります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	12.0	460	101.4	480	85.6	340	31.7	18.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	19,098,576 株	23年3月期	19,098,576 株
24年3月期3Q	550,979 株	23年3月期	550,979 株
24年3月期3Q	18,547,597 株	23年3月期3Q	18,548,295 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、これらの業績予想と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の被害からの回復に伴い、景気は緩やかに持ち直しましたが、円高の進行、欧州の金融危機、タイの洪水被害などにより、先行き不透明な状況が続きました。

雇用情勢につきましては、有効求人倍率は引き続き改善傾向となったものの、求職と求人における正規・非正規のギャップなど、いわゆる「雇用のミスマッチ」状況は解消されておられません。また、完全失業率は依然として高い水準が続いており、雇用情勢全般は低迷しました。一方で、企業の即戦力人材に対する需要は根強く、特に各業界における専門的・技術的職種に対する高い求人ニーズが継続しました。

このような状況におきまして、リクルーティング事業では、正社員及び派遣社員、アルバイト・パート分野など、中途採用全般で採用広告の取り扱いが増加しました。また、当第3四半期より販売をスタートした平成25年3月卒業予定の大学生向け新卒採用商品につきましても、順調な滑り出しとなりました。

この結果、リクルーティング事業の売上高は1,353百万円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益は296百万円（同118.4%増）となりました。

人材サービス事業では、人材紹介事業は、製薬メーカーをはじめとするメディカル業界や医療分野における看護師の採用ニーズが引き続き強いことから、業績は順調に推移しました。しかし、特に看護師紹介においては、競合他社との競争が激しく、転職希望者の登録コストが上昇しております。また、東日本大震災の復興で求人が増加している建設・設備業界の人材紹介にも取り組みました。

人材派遣・紹介予定派遣・請負事業は、北陸及び新潟地域におきまして、医療・福祉・保育士分野の専門サイト「メディ×ケアキャリア」のリニューアルや適職フェア・相談会の定期開催により、業績は堅調に推移しました。また、関西及び東海地域におきましても、家電修理やIT周辺業務のスタッフ派遣は順調でしたが、建設関連の技術者の確保に苦戦したほか、一部でタイの洪水被害の影響もあり、事業全体の業績回復には至りませんでした。

これらの結果、人材サービス事業の売上高は2,751百万円（前年同四半期比24.9%増）、営業利益は535百万円（同43.8%増）となりました。

情報出版事業では、主力商品の生活情報誌におきまして、採用広告及び住宅広告の出稿ニーズに支えられ、業績が順調に推移しました。こうした中、金沢市を中心に発行する「金沢情報」は、訴求力向上のため発行部数を1.5万部増加し、週23万部としました。また、住宅メーカー情報誌「家づくりナビ」も順調に推移しましたが、結婚情報誌をはじめとするタウン系広告媒体の多くが競争激化により苦戦を強いられたため、事業全体の業績は伸び悩みました。

この結果、情報出版事業の売上高は1,171百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は14百万円（同47.7%減）となりました。

その他におきましては、ネット関連事業では、人事・労務に関する情報ポータルサイト「日本の人事部」は参画企業の拡大により広告受注が増加し、収益力が高まりました。また、「日本の人事部」と連動した企画・サービスとして、「HRカンファレンス2011 Autumn」の参加者が2,500名を超え過去最高となったほか、プロ向けサイト「HRプラザ」の会員数も増加しました。その他、人材紹介会社の集合サイト「人材バンクネット」では、成功報酬型サービス「サクセスマッチング」の実績が出始めるなど、業績は底堅く推移しました。

海外事業では、QUICK USA, INC.においては、ニューヨークオフィスで転職希望者向け無料登録・相談会を定期的に開催したことや、新たに化学業界の実績が出始めたことで人材紹介が順調だったほか、人材派遣も堅調に推移しました。

また、上海クイックマイツ有限公司では、日系企業向けのアドバイザー業務に加え、人事や給与などの制度設計のコンサルティングが拡大しました。また、「中国（上海）人事・労務の法知識2011」を発行しました。

これらの結果、その他の売上高は414百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は16百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,690百万円（前年同四半期比16.5%増）、営業利益は540百万円（同144.7%増）、経常利益は560百万円（同129.5%増）、四半期純利益は342百万円（同42.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,010百万円となり、前連結会計年度末と比較して466百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は、1,817百万円となり、前連結会計年度末と比較して219百万円増加しました。主な要因は、賞与引当金が減少しましたが、買掛金、未払法人税等が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は2,193百万円となり、前連結会計年度末と比較して246百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上によるものであります。なお、自己資本比率は54.5%と前連結会計年度末と比較して0.2ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成23年10月31日付「平成24年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表しております連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の当社グループの状況を勘案し、当該連結業績予想に修正のある場合は速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,334,700	1,592,424
受取手形及び売掛金	705,131	893,749
有価証券	41,974	40,595
繰延税金資産	120,243	64,906
その他	73,451	107,985
貸倒引当金	△1,075	△1,185
流動資産合計	2,274,426	2,698,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	399,199	395,297
工具、器具及び備品（純額）	15,880	13,093
土地	311,354	311,354
リース資産（純額）	—	29,361
有形固定資産合計	726,435	749,107
無形固定資産		
その他	84,980	90,162
無形固定資産合計	84,980	90,162
投資その他の資産		
投資有価証券	133,321	149,833
繰延税金資産	506	489
敷金	268,101	231,558
その他	64,391	98,354
貸倒引当金	△7,381	△7,084
投資その他の資産合計	458,940	473,151
固定資産合計	1,270,355	1,312,421
資産合計	3,544,781	4,010,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,242	340,672
短期借入金	283,600	340,400
1年内返済予定の長期借入金	99,984	99,984
未払金	323,453	325,632
未払費用	181,198	200,507
未払法人税等	10,727	154,099
賞与引当金	164,158	78,908
役員賞与引当金	17,200	—
返金引当金	16,400	9,200
資産除去債務	21,600	—
その他	77,665	100,581
流動負債合計	1,375,228	1,649,985
固定負債		
長期借入金	192,706	117,718
繰延税金負債	8,951	6,856
資産除去債務	19,133	21,261
その他	1,906	21,635
固定負債合計	222,697	167,472
負債合計	1,597,925	1,817,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,317	351,317
資本剰余金	271,628	271,628
利益剰余金	1,371,083	1,620,542
自己株式	△33,604	△33,604
株主資本合計	1,960,425	2,209,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,332	1,444
為替換算調整勘定	△23,046	△26,099
その他の包括利益累計額合計	△21,714	△24,655
少数株主持分	8,145	8,210
純資産合計	1,946,856	2,193,439
負債純資産合計	3,544,781	4,010,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,885,187	5,690,516
売上原価	2,135,294	2,323,188
売上総利益	2,749,893	3,367,328
販売費及び一般管理費	2,529,191	2,827,218
営業利益	220,702	540,109
営業外収益		
受取利息	331	390
受取配当金	1,887	3,070
受取販売協力金	3,000	9,652
書籍販売手数料	3,891	2,415
助成金収入	17,416	5,369
その他	6,598	7,622
営業外収益合計	33,125	28,520
営業外費用		
支払利息	8,435	7,615
貸倒引当金繰入額	120	50
その他	1,015	410
営業外費用合計	9,571	8,076
経常利益	244,256	560,553
特別利益		
資産除去債務戻入益	2,585	—
特別利益合計	2,585	—
特別損失		
固定資産除却損	872	—
投資有価証券評価損	4,367	—
事務所移転費用	6,048	4,268
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,264	—
特別損失合計	20,552	4,268
税金等調整前四半期純利益	226,289	556,284
法人税、住民税及び事業税	3,708	160,579
法人税等調整額	△17,810	53,259
法人税等合計	△14,101	213,839
少数株主損益調整前四半期純利益	240,390	342,445
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△376	249
四半期純利益	240,767	342,196

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	240,390	342,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,454	112
為替換算調整勘定	△6,419	△3,236
その他の包括利益合計	△3,965	△3,124
四半期包括利益	236,425	339,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,464	339,255
少数株主に係る四半期包括利益	△1,038	65

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リクルー ティング	人材サー ビス	情報出版	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,069,778	2,202,399	1,213,905	4,486,083	399,104	4,885,187	—	4,885,187
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,116	990	7,927	12,033	11,739	23,773	△23,773	—
計	1,072,895	2,203,389	1,221,832	4,498,116	410,844	4,908,961	△23,773	4,885,187
セグメント利益又は 損失(△)	135,690	372,742	27,147	535,581	△26,179	509,402	△288,700	220,702

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネット関連事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△288,700千円には、セグメント間取引消去32,697千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△321,397千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リクルー ティング	人材サー ビス	情報出版	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,353,508	2,751,099	1,171,875	5,276,482	414,034	5,690,516	—	5,690,516
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,200	110	11,168	12,478	13,002	25,481	△25,481	—
計	1,354,708	2,751,209	1,183,043	5,288,961	427,037	5,715,998	△25,481	5,690,516
セグメント利益	296,298	535,930	14,204	846,433	16,132	862,566	△322,457	540,109

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネット関連事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△322,457千円には、セグメント間取引消去50,887千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△373,344千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。